

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	スポーツキャリアサポート支援事業			担当部局庁	スポーツ庁	作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(民間スポーツ担当)付	参事官(民間スポーツ担当) 渡辺 隆史	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	スポーツ基本法 第25条2項			関係する計画、通知等	スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定) 第2期スポーツ基本計画(平成29年3月24日策定) 第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定)		
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アスリートが競技外のキャリアにおいてスポーツで培った能力を発揮し活躍することは、アスリート自身の人生の充実という点のみならず、アスリートが有する価値を社会に還元するという点においても重要である。また、アスリートの競技外での活躍は、スポーツの価値を高め、スポーツ参画人口の拡大、ひいては競技力の向上にも寄与する。このような認識の下、関係団体、関係企業等が一体となってアスリートのキャリア形成を支援する体制を整備し、その適切な運営を確保するとともに、アスリートのキャリア形成を実際に支援する人材を育成する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	関係団体、関係企業等が一体となってアスリートのキャリア形成を支援する体制を整備し、その適切な運営を確保するためスポーツキャリアサポートコンソーシアムの事務局運営を実施する。その際、事務局運営に当たっては、様々な知識・経験を有する多様な立場の人材によって意思決定が行われるよう改善を図る。また、引退移行期のアスリートが企業等とのマッチングを円滑に行うことができるよう、アスリートのデュアルキャリア形成に必要な研修会等の開催、情報提供等を行う人材を育成する。						
実施方法	委託・請負						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	45.9	45.9	55.4	55.4	55.4
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	45.9	45.9	55.4	55.4	55.4
	執行額	39	42	45			
	執行率(%)	85%	92%	81%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	85%	92%	81%				
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
	スポーツ振興事業委託費	54.2	54.2	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。			
	職員旅費	0.7	0.7				
	庁費	0.3	0.3				
	諸謝金	0.1	0.1				
	委員等旅費	0.1	0.1				
	その他	0	0				
計	55.4	55.4					

活動内容 (アクティビティ)	スポーツキャリアサポートコンソーシアムの認知度向上、競技団体の加入促進、加盟団体・企業の協力関係の構築を最重要課題とし、それらの課題解決に向けた施策・取組の検討を行う総会及び運営委員会を開催する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	総会(1回以上)及び運営委員会(3回以上)の開催	スポーツキャリアサポートコンソーシアム総会、運営委員会の実施回数	活動実績	回	5	11	6	-	-
			当初見込み	回	3	4	4	10	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額(A)／スポーツキャリアサポートコンソーシアム総会、運営委員会の実施回数(B)			単位当たりコスト	円	2,557,094	1,528,483	4,923,715	3,853,100
			計算式	(A)/(B)	12,785,469/5	16,813,318/11	29,542,291/6	38,531,000/10	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 5 年度
	スポーツキャリアサポートコンソーシアム会員数を令和5年度までに100団体に増やす。	スポーツキャリアサポートコンソーシアム会員数	成果実績	団体	35	46	64	-	-
			目標値	団体	-	40	60	-	100
			達成度	%	-	115	106	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	スポーツ庁委託事業スポーツキャリアサポート支援事業報告書(令和元年度まではスポーツキャリアサポート推進戦略報告書)								
活動内容 (アクティビティ)	競技引退後のアスリートがスムーズにキャリア移行を行えるよう、必要な情報提供等のサポートを行う人材であるアスリートキャリアコーディネーターの育成を行うとともに、効果的な活用の在り方について検討を行う。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	スポーツキャリアに関する研修会(10回以上)の実施	スポーツキャリアに関する研修会の実施回数	活動実績	回	14	8	12	-	-
			当初見込み	回	-	8	12	12	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額(A)／スポーツキャリアに関する研修会の実施回数(B)			単位当たりコスト	円	2,773,297	3,171,744	2,461,857	3,210,916
			計算式	(A)/(B)	38,826,156/14	25,373,948/8	29,542,291/12	38,531,000/12	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 5 年度
	アスリートキャリアコーディネーターの人数を令和5年度まで500名に増やす。	アスリートキャリアコーディネーターの人数	成果実績	人	29	132	343	-	-
			目標値	人	-	10	250	-	500
		達成度	%	0	1,320	137	0	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	スポーツ庁委託事業スポーツキャリアサポート支援事業報告書								

政策評価 政策評価 政策評価	政策	11 スポーツの振興		
	施策	11-1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ 参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の 充実	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_11-1.pdf
			該当箇所	P5~P6
事業所管部局による点検・改善				
国費投入の 必要性	項目		評価	評価に関する説明
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	本事業は第2期スポーツ基本計画および第3期スポーツ基本計画において必要性が明記されており、アスリートが競技外のキャリアにおいてスポーツで培った能力を発揮し活躍することは、アスリートが持つ価値を社会に還元するという点から重要であり、国がアスリートのキャリア形成を支援することは、国民、社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	第2期スポーツ基本計画において、国は、アスリート等の人的成長やデュアルキャリアの取組を促進することとされているため、国が自ら実施すべき事業である。
事業の 効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	本事業は第2期スポーツ基本計画の「スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実」において、その必要性が明記されており、政策の優先順位が極めて高い事業である。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定に当たっては、本事業を効率的・効果的に推進するため、企画競争を前提とする公募を行い、提案のあった団体について、技術審査委員会を実施し、その妥当性・競争性を確保している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業は第2期スポーツ基本計画において国が自ら実施すべき事業であり、その必要性が明記されていることから、国が費用負担を負うことは妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	費目・使途の精査を行った上で契約を締結しており、単位当たりコスト等の水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	委託事業の契約及び委託額の確定に当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その合理性について適切にチェックを行っている。
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業経費の費目・使途の内容については、契約時及び委託費の額の確定手続きにおいて厳正に審査し、必要なものに限定している。	
事業の 有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	委託事業の契約に当たり、経費のチェックを行うとともに、事業開始後も事業実施に係る注意点を共有することにより、コスト削減や効率化に向けた工夫を行っている。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果実績値が年々上昇しており、確実に成果が見られるところである。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	委託事業の契約及び委託額の確定の段階から効果的・低コストで実施できるよう厳正に審査するとともに、事業実施開始後に他の手段・方法等の見直し・検討を実施している。
関連 事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	事業の効率的・効果的な実施に努め、成果目標に見合った実績を出している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果物についてHPやSNSを通じて発信するなど、活用を図っている。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-
	事業番号		事業名	

点検・改善結果	点検結果	本事業は、スポーツ基本法に基づくスポーツ基本計画にその必要性が明記されており、政策の優先度が極めて高く、国民や社会のニーズを反映したものである。支出(委託)先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性及競争性を確保している。またスポーツキャリアサポートコンソーシアムの会員数も着実に増加しており、今後も継続的な事業による成果が求められる。
	改善の方向性	事業の進捗状況について、事業者と緊密に連絡を取り合うことにより、事業の進捗および経費の執行状況を確認するとともに、委託事業終了時には、委託先から提出のあった実績報告書の確認を行うほか、必要に応じて現地調査を行い、証拠書類(収支簿・領収書等)の確認により、委託費の適切な執行・管理がなされているかについて審査する。

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

の事業改善部内改善の方向性

この事業は事業目的は明確であるが、予算執行に当たって、一者応札になる等の競争性が十分に働いていない状況も見受けられるため、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

改年度改善部内改善の方向性

所見を踏まえ、一者応札については契約監視委員会等により第三者による点検を継続的に行い、公募期間の延長や仕様書等の見直しなど、一層の契約の競争性・公平性・透明性の確保を図る。

備考

スポーツ庁委託事業スポーツキャリアサポート支援事業報告書等
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/detail/1419295_00003.html

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	新27-0033			
平成28年度	309			
平成29年度	309			
平成30年度	305			
令和元年度	文部科学省 - 0299			
令和2年度	文部科学省 0302			
令和3年度	2021 文科 0325			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

スポーツ庁 44.9百万円

職員旅費・委員等旅費0.5百万円含む

委託【随意契約(企画競争)】

A.スポーツキャリアサポートコンソーシアムの運営
29.5百万円
(株)フューチャー・デザイン・ラボ

関係団体・企業等の連携・協働を促進し、アスリートのキャリア形成を支援する体制を構築・運営する。
また、引退移行期のアスリートのスムーズなキャリアアトランジションを図るため、アスリートに対しキャリア形成に必要な研修会等の開催や情報提供を行うアスリートキャリアコーディネーターを育成する。

委託【随意契約(企画競争)】

B.スポーツ人材の効果的な活用のあり方に関する
基礎的調査研究
14.9百万円
(株)リベルタス・コンサルティング

海外における指導者や審判員といったスポーツ人材の数、養成状況、雇用形態、需要状態等の全体像や課題、課題解決に向けた取組を把握するため、基礎的な調査研究を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

